



Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社 愛知医療センター
名古屋第一病院

日赤なごや

Vol. 77
Summer
2022



お知らせ

●バースセンターで産後ケア入院が
始まりました
バースセンター 大島 和美 看護師長

ふれあい
通信

●北の大地から「しあわせ」の香りが届きました
ANAグループすずらん贈呈
●長年に亘るご協力ありがとうございます 奉仕団感謝状贈呈式

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training



Medical Frontier

メディカル フロンティア

最前線医療レポート Vol.69



脊椎脊髄外科部長
日本整形外科学会整形外科専門医・脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

やぎひでき 医師



首、腰、背中の痛みを和らげて

日常に笑顔を取り戻す、外科治療を行っています。

脊椎脊髄外科は「背骨」と背骨の中を通る「脊髄神経」の専門科です。

背骨は、正常なときは首(頸椎)、背中(胸椎)、腰(腰椎)がS字状に積み重なりバランスをとっています。その背骨には脳からの指令を手足に送る脊髄神経が通っており、ひとたび背骨に障害がでると、歩行障害や手足の痺れ、痛みなどが出現し重大な健康障害が出現します。脊椎脊髄外科で診察する病気は、頸、腰、背中の病気であり、頸椎症、腰部脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折、腰椎椎間板ヘルニアなどが代表的な病気です。

骨粗鬆症が進むと「脊椎圧迫骨折」のリスクが高まります。

高齢になれば、特に女性は大半の方が「骨粗鬆症」となり、日常生活で簡単に骨が折れてしまうこともしばしばです。「腰が曲がってきた」、「背が低くなった」と言われる方の多くには骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折があります。圧迫骨折が起きてしまった場合、従来は安静とコルセットにより骨が固まるのを待つ「保存治療」が主体でした。保存治療では長期間の安静臥床による筋力低下や、徐々に骨折部がつぶれて背骨が曲がってしまうこと(円背)が問題となります。2011年から骨粗鬆症性椎体骨折(=圧迫骨折)に対して骨折部に医療用セメントを充填する経皮的椎体形成術(BKP)が保険適用となり、当科でも積極的に行っております。BKPは全身麻酔での手術となりますですが、4mm程度の皮膚切開が2か所、出血も少量で比

較的低侵襲の手術です。BKPは多くの症例で、即時の除痛効果があり、骨折部の圧壊進行(円背)の予防が可能となります。但し、BKPの手術をしても骨粗鬆症が治る訳ではありませんので、術後に隣接椎体骨折(上下の骨が折れること)が約2~3割にみられます。その為、術後コルセットを装着していただき、骨粗鬆症の薬物治療を平行して行っていく必要があります。



腰椎椎間板ヘルニアに対するヘルニコアによる椎間板内酵素注入療法。

腰椎椎間板ヘルニアは働き盛りの青壮年に多く、腰痛、臀部や下肢の痺れ、痛みにより日常生活や仕事に大きな支障を来します。重度のヘルニアでは下肢の筋力低下や排泄障害などの麻痺が出現し、後遺症が生じる場合もあるため、早期の手術が必要です。通常、治療の基本は安静、コルセット、薬物治療(鎮痛剤)ブロック注射などによる保存治療となります。保存治療で大

半の椎間板ヘルニアは自然に小さくなり治癒しますが、多くの場合で数か月の治療期間を要します。働き盛りの方では早く治すために手術を行う場合もありますが、手術後に無理をすればヘルニアが再発してしまう場合があります。手術せずに早く治したいという要望の中、「ヘルニコア」による椎間板内酵素注入療法が2018年から認可され、認定を受けた施設で実施可能となりました。当院でも日帰り入院で施行しております。椎間板を溶かす酵素を椎間板に直接注射し、椎間板ヘルニアの縮小を促進します。手術ほどの即時的治療効果はありませんが、従来の保存治療と比較して短期間に症状が改善する場合が多いです。但し、アレルギーの予防のため投与は人生で1回のみと定められています。

BKPもヘルニコアも低侵襲でたいへん優れた治療法です。しかし、すべての患者さんに適応となる訳ではありません。背骨の専門外来でご相談いただき、患者さんにとって最善の治療と一緒に考えていきたいと思っています。



表紙のひと

循環器内科
まつ あやか
松井 紗香 医師



今できる最善のことを考えて、
力を尽くす毎日です。

**カテーテルは、開胸せずに治療が
できる低侵襲の手術です。**

循環器内科医をめざしたきっかけは、研修医時代にさかのぼります。

心肺停止の状態で、心臓マッサージを受けながら救急搬送してきた患者さんが、カテーテル治療で息を吹き返し、リハビリを経て、社会復帰されていく様子を目の当たりにしたことです。医師として技術を磨き経験を積めば、このような素晴らしい治療が実現できるのかと感動し、循環器内科におけるカテーテル治療の可能性を実感しました。

循環器とは、心臓や動脈、静脈など、全身に血液を巡らせる器官の総称です。何らかの理由で突然血管が詰まると生命の危機に陥りますし、滞っていた血流を促す治療を行えば、見違えるほど回復されることもあります。また、血流が途絶えてしまった時は、いかに早く流れを戻すかで予後が大きく変わります。そのため、循環器内科は24時間体制で患者さんの治療にあたっています。

患者さんの声に耳を傾け、痛みに寄り添う医師をめざしています。

目の前の業務一つひとつに全力で取り組む毎日です。循環器内科における私の担当は、主に、狭心症や不整脈で入院される患者さんのカテーテル検査と治療、入院患者さんの管理、外来患者さんの診察や夜間の宿直業務です。

診察の際は患者さんやご家族のお話をよくお聞きして、不安や心の痛みを少しでも和らげられるように配慮しています。また、お薬の飲み方や睡眠の質、食事や嗜好品、趣味、生活スタイル、職業など、患者さんの暮らしについてもお聞きするようにしています。なぜなら生活習慣は検査だけでは見えない患者さんの体の状態を知るヒントになるからです。これらの情報をまとめて上級医師と話し合い、この患者さんにはこういう治療が望ましいのではないか、という方針を立てています。患者さんのお気持ちや今後の人生も含めて「最善の治療」をお届けすることが目標です。

**ハートチームの一員として、
今できることを確実に。**

当院には、循環器内科と心臓血管外科、血管外科の各医師、麻酔科、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、管理栄養士など、多職種で結成される「ハートチーム」があります。それぞれの専門性を活かして連携し、患者さん一人ひとりに合った治療を迅速に行います。経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI)や、経皮的僧帽弁接合不全修復術(Mitraclip)などの先進医療も実施しています。

チームにおける私の担当は、術中の経食道エコーです。これは胃カメラのように口から入れて、心臓を食道側から観察できる機械です。執刀医はこの映像を見ながらカテーテルなどの位置を決めていくため、上手く描出できるように上級医師から知識、技術を学んでいます。

医師である以上、患者さんに「症状が良くなった」「元気になった」と言っていただけるのはうれしいことです。今後もより良い医療を届けられるよう努力を続けたいと思います。

栄養の いろは

第9回

便秘に悩んでいませんか？

近年の食物繊維摂取量の減少、ストレス社会の到来、運動量の減少、高齢化社会の影響で、便秘を訴えている人が増えてきていると言われています。

便秘予防・改善には生活習慣の改善が大切となります。今回は便秘予防の食習慣についてお伝えします。できそうなことから実践してみましょう。それでも便秘が改善しないということであれば、医師・管理栄養士にご相談ください。

①1日3食規則正しく食べる

特に朝食は体内リズムを整え、胃や腸を整え排便反射を促しやすくなります。

②水分はたっぷりとる

便の7-8割は水分のため、水分をとる量が少ないと便が硬くなります。

③適度な食物繊維をとる

食物繊維は野菜・穀類・きのこ・海藻・果物・豆類・芋類に多く含まれています。毎食必ずとるよう心がけましょう。



食物繊維の多いものは硬いもの、かみ応えのあるものが多いです。消化吸収を助けるため、ゆっくりよくかんで食べるよう意識しましょう。

④腸内細菌を整える

乳酸菌やビフィズス菌などの善玉菌は、腸内環境を整える働きがあります。ヨーグルトや乳酸菌飲料には動物性乳酸菌、納豆や漬物(ぬか漬け・キムチ等)には植物性乳酸菌が含まれています。



INFORMATION

お知らせ



バースセンターで 産後ケア入院が始まりました



産後ケア入院とは、お産後のお母さんが安心して子育てをしていけるように、授乳や育児の仕方、お産後からだの相談など、助産師が24時間体制でサポートする入院です。

当院のバースセンターでは、令和4年4月1日から産後ケア入院を開始しました。宿泊入院と日帰り入院があり、ご希望に応じてお選びいただけます。お部屋は全室個室でご用意しており、助産師のケアはお母さんと赤ちゃんの状況に応じて個別に対応しています。

最近は親世代と一緒に住んでいる方は少なく、サポートしてもらう家族は夫のみ。でもお仕事が忙しく、なかなか育児を頼れない方もいらっしゃるのではないか。また、新型コロナウイルス感染症の影響で里帰り出産ができず、ご実家などからのサポートが得られない方が多いと思います。孤立してしまいがちなお産後のこの時期だからこそ、産後ケア入院を利用してみませんか。

ご利用いただける方は、産後4ヶ月までのお母さんと赤ちゃんです。他施設で出産された方もご利用いただくことができます。また当院で出産後、自宅へ退院せずに産後ケア入院を利用することもできます。GCU退院後の赤ちゃんもお母さんと一緒に産後ケア入院を行い、お母さんが赤ちゃんとの生活に慣れて、安心しておうちに帰っていただくよう支援します。

当院では、お母さんと赤ちゃんのそばにいつも助産師がいます。お産後の心配や悩みを一人で抱えないで、助産師にご相談ください。

産後ケア入院について詳しくお知りになりたい方は、当院のホームページをご覧ください。出産後の入院中に申し込み、お電話や助産師外来での申し込み、いずれも可能です。

スタッフ一同、お待ちしています。

バースセンター看護師長 大島 和美



ふれあい 通信

5/25

北の大地から「しあわせ」の香りが届きました ANAグループすずらん贈呈

令和4年5月25日(水)、「しあわせの再来」の花言葉をもつすずらんが、北の大地からさわやかな香りとともに当院にやってきました。

病棟で、すずらんの切り花と、イラストが添えられたしおりを手にした方々から、明るい笑顔がこぼれます。

今年で67回目となった、ANA(全日空)グループのご厚意によるすずらんのご寄贈。例年はANAグループのスタッフの方々が来院され、患者さん一人ひとりに励ましの言葉をかけてくださいますが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、お届けいただいたお花としおりを当院スタッフから患者さんにお渡ししています。

来年こそはすずらんが、ANAグループスタッフの皆様の笑顔で再び彩られることを願います。

ANAグループのご厚意に、当院一同心より御礼申し上げます。



TOPICS
1

5/31

長年に亘るご協力ありがとうございます 奉仕団感謝状贈呈式

TOPICS
2

令和4年5月31日(火)、当院内ヶ島講堂において名古屋第一赤十字病院奉仕団感謝状贈呈式を開催しました。本年は30年表彰が2名、20年表彰が1名、10年表彰が3名、5年表彰が2名、1年表彰が4名と、合計12名の方に感謝状を贈呈しました。

30年以上に亘る活動のうちには、多くのご苦労があったかと思います。しかし、そのような奉仕団の方の変わらぬ奉仕のお気持ちと行動があったからこそ、当院も存続できているのではないかと考えます。

昨年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症の勢いは衰えず、奉仕団の活動に大きな制限をかけます。しかしながら、「withコロナ」の時代を迎えるにあたり、奉仕団は過去の活動に囚われること無く、日々新しい活動が出来ないかを考えて活動されています。奉仕団の方々の力を借りてこの新型コロナウイルス感染症の世界的流行期を共に乗り越えてゆければと思います。

最後に、この紙面をお借りし、改めて奉仕団の方々のご尽力に厚くお礼申し上げます。



外来診療担当医表

診療科目		月	火	水	木	金
内科	血液	小澤幸泰	西田徹也	AM西田徹也/ PM田原玄寛	小澤幸泰	森下喬允
		後藤辰徳	AM武田健一郎	後藤辰徳	AM一木朝絵	石際康平
		PM石際康平	PM森下喬允	AM土門洋祐	PM武田健一郎	PM西田徹也
		PM土門洋祐	PM内藤知希	PM福岡翔・ 内藤知希	—	PM一木朝絵
	内分泌	清田篤志	白川晶	尾崎信暁	尾崎信暁	清田篤志
		武田由季	土田真梨子	—	土田真梨子	太田美穂子
	腎臓	遠藤信英	AM遠藤信英/ PM鈴木彰	清水仁美	平松絵美子	横江優貴
		第1-5週 三澤尚史/ 第2-4週 大河内建	AM伊藤理樹/ PM福野貴仁	第1-5週 福野貴仁/ 第2-4週 加藤暉康	近藤隼人	近藤隼人
	脳神経	渡邊はづき	近藤隼人	後藤洋二	真野和夫	後藤洋二
		AM谷本由佳/ PM福野貴仁	AM加藤暉康/ PM伊藤理樹	AM三澤尚史/ PM大河内建	渡邊はづき	本田大祐
	循環器	新患	近藤史朗/ 小出浩史	松井綾香	宮崎茜	黒田真之
		鳴野祐之	嶋野祐之	森下佳洋	柴田義久	柴田義久
		再診	神谷春雄	岡本達太郎/ 宮本駿	近藤俊	宮田紳治朗
●第1.3.5金曜日(午後)専門外来						
小児科	呼吸器	新患	田中麻里/ 小玉勇太	高納崇	後藤希/ 中瀬敦	稻垣雅康/ 都島悠佑
		再診	横山俊彦	田中麻里	稻垣雅康	伊藤亮太
		—	中瀬敦	PM都島悠佑	高納崇	後藤希
	消化器	土居崎正雄	山口丈夫	鶴見肇	山口丈夫	AM春田純一/ PM吉岡直輝
		鶴見肇/ PM上田遼太	堀田侑義	春田純一/ PM丸川高弘	上田遼太	土居崎正雄
		松本悠平	原啓文	藤吉俊尚	PM市川毅留	丸川高弘
	総合診療	川瀬祐	—	三木大地	PM松本悠平	—
		宮川慶	—	AM松久貴晴/ PM宮川慶	PM棟葉誠	—
	午前	福見大地	濱麻人	大城誠	福見大地	竹内智哉
		齊藤明子	西門優一	秋田直洋	北澤宏展	三井さやか
		水谷謙介	田中雅大	荒木未希絵	細川博紀	神原紀香
		菊井創	土屋研人	井上学	—	上田真菜
		—	—	—	—	片山美花
	アレルギー	—	—	牧野篤司	岩脇由希子	—
	循環器	三井さやか	—	—	福見大地	—
	血液	—	濱麻人	PM土居崎小夜子	吉田奈央	(交代)
	神経	—	—	竹内智哉	田中雅大	夏目淳/(交代)
	腎臓	—	渥美愛/ 多代篤史	—	—	—
午後(専門外来)	新生児発達	浅田英之	中山淳	杉山裕一朗	田中亮	大城誠
	予防接種	濱崎咲也子	近藤真生	—	—	—
	乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)
	小児内分泌	—	—	—	—	西門優一
	アレルギー	牧野篤司	—	—	—	—
	●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。					
外科	一般消化器外科	三宅秀夫	吉岡裕一郎	三宅秀夫	永井英雅	三宅秀夫
		荒川拓也	柴田耕治	高橋大五郎	加藤麻予	PM永井英雅
		浅井周平	関本晃裕	河合奈津子/ PM百田浩太郎	青木 優大	川合亮佑
	乳腺外科	岩瀬拓士	乳腺初診/ (病診予約)	後藤康友	後藤康友	角田伸行
		照屋なつき/ PM(乳腺再診)	角田伸行/ PM大田尚正	照屋なつき	松本理佐	乳腺初診・ 乳腺再診
	心臓血管外科	澤木完成	伊藤敏明(新患)/ 梶山洋	細羽創宇	—	伊藤敏明(新患)/ 加藤陸
	血管外科	—	山本清人	—	榎原昌志/ 李昌史	—
	呼吸器外科	(交代)/ 川角佑太	(交代)/ 森正一	(交代)	(交代)	森正一
	小児外科	村瀬成彦	村瀬成彦	—	村瀬成彦	—
	禁煙外来	毎週火曜日(12時30分~14時30分) 舟橋龍秀				
整形外科	形成外科	須藤知里/ 菱田雅之	—	須藤知里	—	菱田雅之
	新患	大高圭司	島本祐哉	伊藤史宙	藤田友樹	上見亮太
		井上英則	山本英樹	八木秀樹	洪淑貴	井上英則
		洪淑貴	石川尚人	上見亮太	山本英樹	石川尚人
		伊藤史宙	大塚純子	祖父江康司	大塚純子	八木秀樹
		—	藤田友樹	—	大高圭司	祖父江康司
		—	—	—	島本祐哉	—

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2022年7月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	
脳神経外科	服部健一	和田健太郎	波多野寿	(交代)	久保裕昭	
	若林正浩	—	—		藤谷繁	
	—	—	伊藤里紗	—	—	
皮膚科	吉川真人	吉川真人	井上優貴	井上優貴	井上優貴	
	石原麻衣子	石原麻衣子	吉川真人	石原麻衣子	吉川真人	
大見修也	大見修也	大見修也	大見修也	大見修也	石原麻衣子	
泌尿器科	黒須春香	平林裕樹/ 加藤隆	佐井裕紀/ AM百田絢子/ PM井上聰	AM百田絢子/ PM井上聰	佐井裕紀	
	鈴木省治	—	百田絢子	加藤隆	平林裕樹/ 井上聰	
腎移植外来	—	PM平林裕樹	—	—	—	
	加藤久美子	—	—	加藤久美子	—	
女性泌尿器科	加藤久美子	—	加藤久美子	(新患)	—	
	鈴木省治	PM加藤久美子	—	—	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤智子	廣村勝彦	伊藤由美子	齋藤愛	
	再診	AM田中製紗子/ PM黒柳雅文	AM正橋佳樹/ PM水野公雄	AM坂堂美央子/ PM鈴木美帆	AM寺沢直浩/ PM宗宮絢帆	
化療外来	齋藤愛	安藤智子	—	安藤智子	齋藤愛	
	(交代)	(交代)	(交代)	(交代)	—	
妊娠診察	AM福原伸彦/ PM蓑田章	伊藤由美子	AM中村拓斗/ PM白倉知香	手塚敦子	AM荒木甫/ PM穎悦子	
	—	PM白倉知香	—	—	—	
ハイリスク妊娠外来	AM津田弘之	—	—	—	AM津田弘之	
	妊娠初診外来	PM津田弘之	—	—	PM津田弘之	
バースセンター	—	福原伸彦	—	荒木甫	—	
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
眼科	佐藤英津子	—	佐藤英津子	(交代)	野坂光司	
	(交代)	(交代)	(交代)		(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田聰広	鈴木淳志	柘植勇人/ 小澤亮太	村上優美子/ 長谷川雅俊	
	再診	柘植勇人	寺田聰広	寺田聰広	柘植勇人	
	伊藤潤平	長谷川雅俊	鈴木淳志	伊藤潤平	村上優美子	
村上優美子/長谷川雅俊/小澤亮太 (交代)						
リハビリテーション科	八木秀樹/ 大塚純子	洪淑貴	石川尚人	井上英則	山本英樹	
	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	
放射線科	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	
	—	—	—	—	—	
歯科口腔外科	新患	大岩伊知郎	佐藤春樹	(交代)	(交代)	
	佐藤春樹	大岩伊知郎	—			
	長繩憲亮	長繩憲亮	—	佐藤春樹	—	
	上田整	早川泰平	—	早川泰平	—	
緩和ケア科	緩和ケア外来	水曜日 PM河合奈津子				

外来診療のご案内

- ◆初診 総合案内で「診療申込票」に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方)紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出しください。
- ◆診療受付時間 午前8時20分~午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日~1月3日)日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
患者相談室 電話052-485-3503(直通)

☎お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733